

「北陸地域連携プラットフォーム」について (今年度の運営方針等)

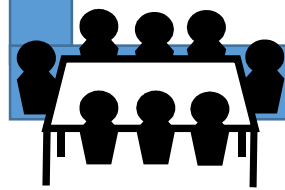
北陸財務局

北陸地域連携プラットフォームについて

1. プラットフォームの実績

北陸局では、26年1月にプラットフォームを立ち上げ、これまで計13回にわたって「**本局(金沢市)**」において、人口減少問題、農業の6次産業化、企業の生産性向上等など「**各テーマについて中央省庁等から講師を招聘し、基調講演**」を頂いたうえで、「**メンバーが意見交換**」を行い、その結果を地域に情報発信・還元してきたところ。

① 事務局が、地域の課題・ニーズを把握



② 基調講演
(現状・課題の共有)
+
③ 意見交換



×13回

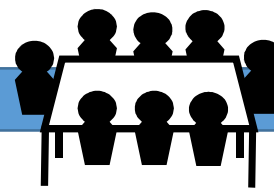
No.	開催月	講師	テーマ
1	H26.1	財務省	「我が国の経済・財政について」
2	H26.4	厚生労働省	「社会保障・税一体改革とその後のビジョン」
3	H26.6	国土交通省	「コンパクトシティとこれからの国土」
4	H26.11	富山市	「富山市におけるコンパクトなまちづくりの進捗と展望」
5	H27.1	まち・ひと・しごと創生本部	「地方創生に向けた施策等について」
		鯖江市	「鯖江から国を変える」
6	H27.3	日本政策投資銀行	「『地方創生』に関する地域金融機関と日本政策投資銀行との連携について」
7	H27.6	当局説明	「北陸新幹線を追い風とした地方創生・地域活性化」
8	H27.12	中間整理	「これまでの北陸地域連携プラットフォームの中間整理と今後の方向性」
9	H28.2	まち・ひと・しごと創生本部	「地方創生の取組について」
10	H28.4	日本政策投資銀行	「日本型DMO形成による観光地域づくり」
11	H28.6	経済産業省	「新産業構造ビジョン～第4次産業革命をリードする日本の戦略～」
12	H29.3	農林水産省	「農林漁業の6次産業化の推進について」
		㈱金沢大地	「地域資源を活用した農業の6次産業化の取り組み」
13	H29.6	財務省	「『企業の投資戦略に関する研究会—イノベーションに向けて—』研究会の概要」

2. 新たな取組

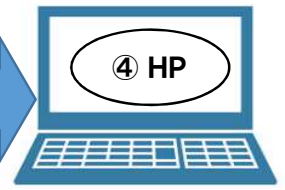
今事務年度は、「地域への提言・提案」や「更なる情報発信」を目指し、

- ① 課題解決の一助となるよう、「**ワンテーマを通年で議論**」し、「**メンバーからの提言・提案**」を受け、「**事務局が提案等を踏まえ、関係機関・大学等と連携し実現に向けて動く**」。
- ② 従来以上に地域に溶け込んだ形での取組を行うべく、「**地域内外のメンバーとの対話・議論**」を行い、取組の成果を地域に情報発信・還元するため、年1回「**フォーラム**」を開催する。

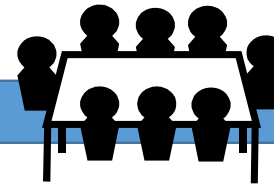
① 事務局が、地域の課題・ニーズを把握



② 事例紹介
(現状・課題の共有)
+
③ 提言・提案等



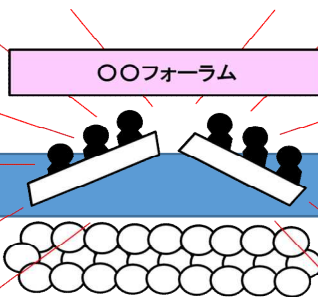
⑤ 事務局が、提言・提案を整理のうえ、実現に向けて行動



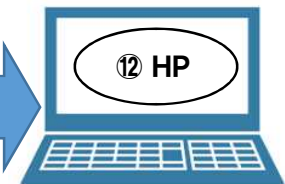
⑥ 事例紹介
⑦ 取組結果の報告
⑧ 追加の提言・提案



⑩ 追加提言・提案を踏まえ、実現に向けて行動



⑪ 情報発信



事務年度・統一テーマ

1. 今年度の取組テーマ

- 「産業観光」の進展に向けて 【初回:12月12日(火) 14:00~ 】

2. 選定理由

北陸の持つ強みを活かしながら、当面の課題である「①北陸新幹線開業効果の持続」及び「②人手不足問題」、また、「③地域産業の維持・振興」に対する解決策の一つとして、「産業観光の進展」に着目。

【北陸の強み・機会】

- ・ 歴史・文化に裏付けされた特徴ある「ものづくり産業」が集積するほか、「ニッチトップ企業」も多数存在。
- ・ 北陸新幹線開業による首都圏とのアクセス改善、観光客の増加 及び 今後の敦賀延伸。

【北陸の弱み・脅威】

- ・ 北陸新幹線の開業効果は持続しているものの、勢いに落ち着き。
- ・ 全国で最も「人手不足感」が強い地域。
- ・ 自然減のほか、若年層を中心に都市圏への人口流出が続いており、社会・産業活動の活力低下が懸念。

- 「強み」を「観光資源化」することによって、
観光・ビジネス客に、訪問先の選択肢を増やし、北陸への誘客推進、さらには、広域周遊化・滞在期間の長期化を目指す。
- 「強み」を「見える化」、「体験化」し、児童を含め広く地域住民に、地域産業の良さ・魅力に触れる機会を設けることによって、地域・産業への誇りや愛着の増進を促し、地域への定着、人材の採用・後継者の育成につなげる。

3. 産業観光とは

■ 歴史的・文化的価値のある産業文化財(古い機械器具、工場遺構などの産業遺産)、生産現場(工場・工房等)及び産業製品を観光資源とし、それらを通じてものづくりの心に触れるとともに、人的交流を促進する観光活動。【出所】全国産業観光サミットin愛知・名古屋(2011年)

4. 取組先数等

発行物	発行元	掲載先数	掲載先数			
			伝統工芸品	食料品	製造業(左記除く)	その他
北陸産業観光マップ	(一財)北陸産業活性化センター	343 (100.0)	108 (31.5)	84 (24.5)	45 (13.1)	106 (30.9)
石川県産業観光ガイドブック(いしかわ見聞学)	石川県(観光戦略推進部観光企画課)	214 (100.0)	82 (38.3)	49 (22.9)	31 (14.5)	52 (24.3)
富山産業観光図鑑2017	富山県(広域産業観光推進委員会) 富山県商工会議所連合会	159 (100.0)	29 (18.2)	37 (23.3)	27 (17.0)	66 (41.5)
富山県産業観光ガイド	富山県商工会連合会	55 (100.0)	5 (9.1)	18 (32.7)	27 (49.1)	5 (9.1)
いしかわ教育旅行ガイドブック	(公社)石川県観光連盟 石川県観光戦略推進部誘客戦略課					
富山で教育旅行 富山県教育旅行ガイドブック	(公社)とやま観光推進機構					
体験・福井 学び旅 福井県教育旅行ガイドブック	(公社)福井県観光連盟					

【備考】掲載先数の内訳は当局調べ。その他は、博物館、歴史館など。

5. 期待される効果

【地域】

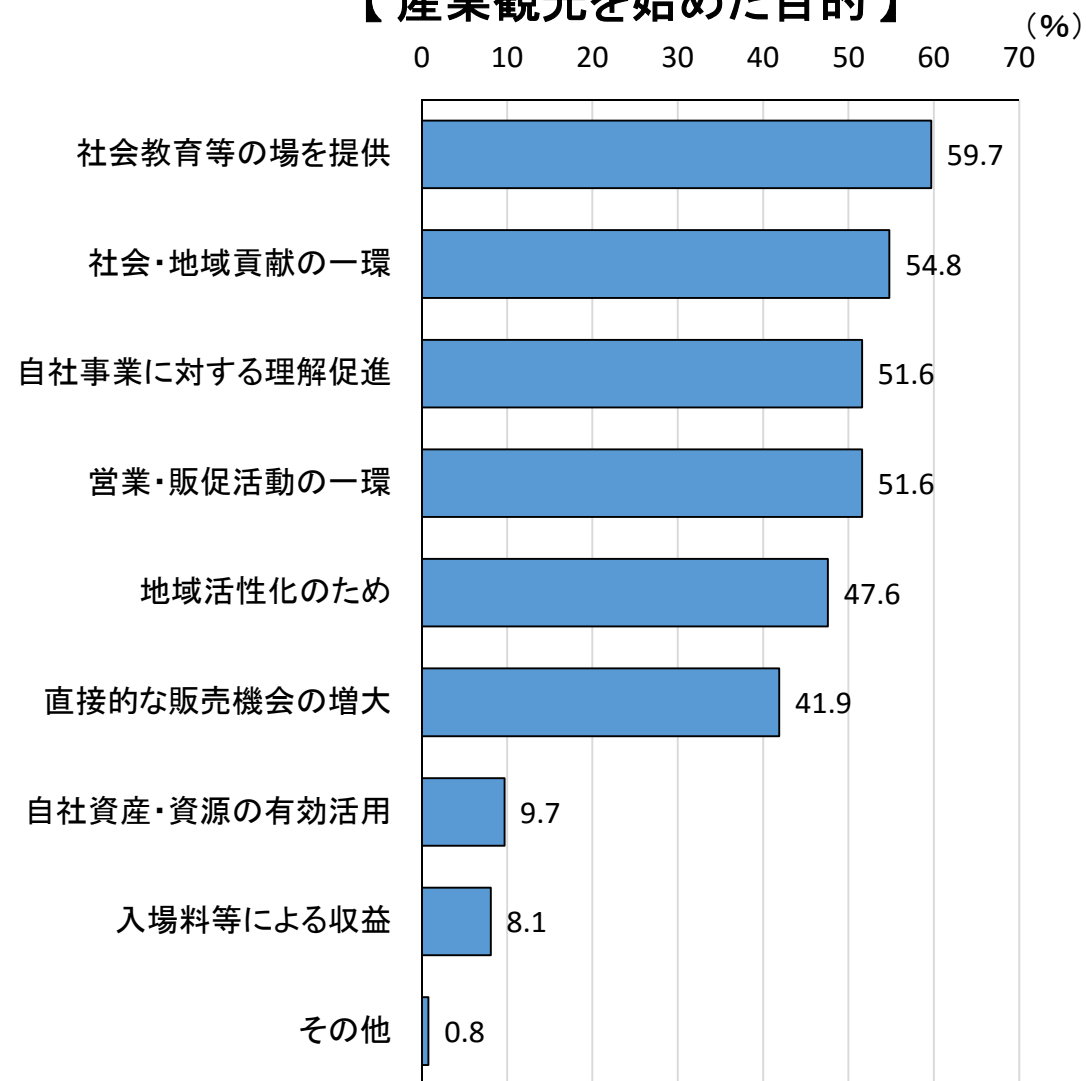
1. 新たな観光資源の創出
2. 交流人口の増加
3. 地域の産業振興
4. 産業の担い手の育成
5. 地域の活性化

【企業側】

1. 商品のPR・販売機会の創出
2. 企業の認知度・イメージの向上
3. マーケティング機会の創出
4. 人材育成
 - ・ 従業員・職人の意欲向上
 - ・ 自社製品知識、プレゼン能力の向上
5. 新たな人員の確保
6. 地域社会への貢献

【備考】プラットフォーム事務局(北陸財務局総務課)が、各種資料のほか、各県、商工会議所など取組推進機関に行った聞き取り調査により整理したもの。

【産業観光を始めた目的】



【出所】北陸産業活性化センター「北陸地域における産業観光の現状と課題に関する調査研究報告書(H28.2発刊)」

【備考】産業観光の取組先(過去を含む)124先を対象に、複数回答可(5つまで)として調査したもの。

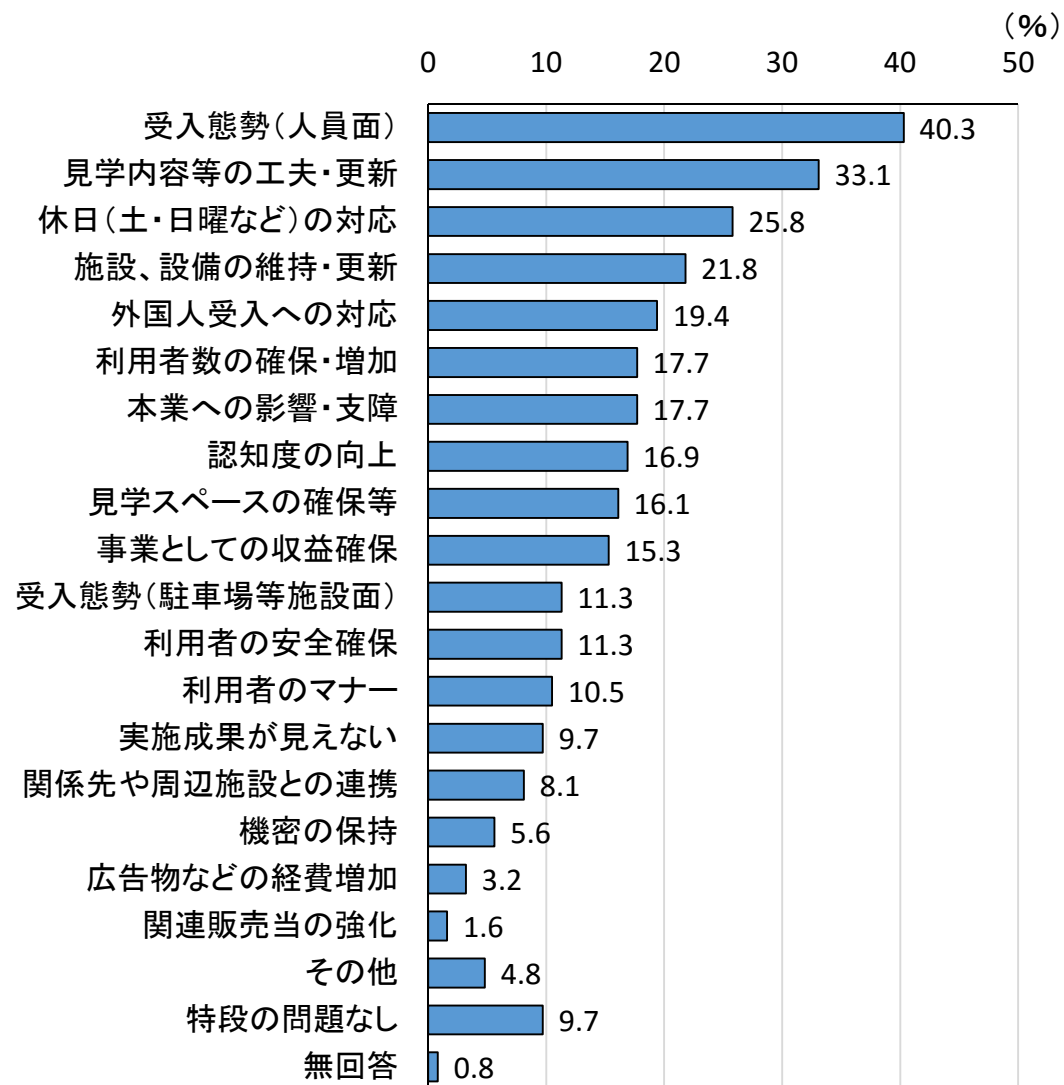
6. 取組開始への障壁

【企業側】

1. BtoB企業(中間財・生産財)には、製品PRのメリットなし。
2. BtoB企業には、「観光客・市民が見ても面白くない」との意識あり。
3. 受入態勢整備に係るコスト負担(人件費、設備投資)が大きい。
4. 受入態勢のための人手(予約対応、ガイド対応)が不足。
5. 「企業秘密」漏えいへの警戒感や、発注元企業との守秘義務契約あり。
6. インバウンド客・多言語への対応が困難。
7. 取組効果(費用対効果)が不明確。

【備考】プラットフォーム事務局(北陸財務局総務課)が、各種資料のほか、各県、商工会議所など取組推進機関に行った聞き取り調査により整理したもの。

【取組を続けるための課題:対象/取組開始先】



【出所】北陸産業活性化センター「北陸地域における産業観光の現状と課題に関する調査研究報告書(H28.2発刊)」

【備考】産業観光の取組先(過去を含む)124先を対象に、複数回答可(5つまで)として調査したもの。

7. 地域として必要な取組

1. ルートの設定

(課題等)

- ・ 利害調整
- ・ 受入可能人数、受入可能日の違い

2. 「産業観光」のPR

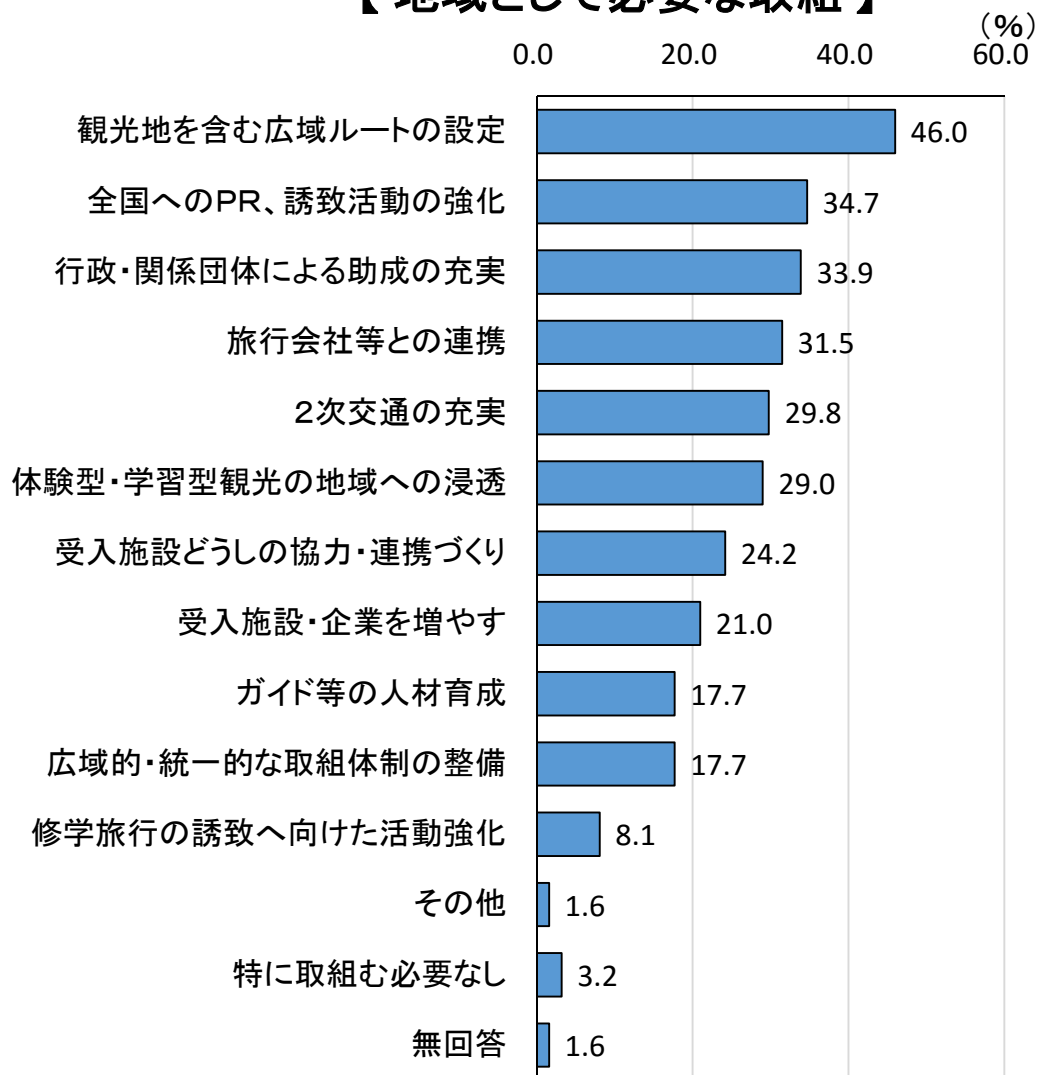
3. 受入整備のための金融支援(補助金等)

4. 北陸3県内の連携

5. 交通インフラ、2次交通網の整備

【備考】プラットフォーム事務局(北陸財務局総務課)が、各種資料のほか、各県、商工会議所など取組推進機関に行った聞き取り調査により整理したもの。

【地域として必要な取組】



【出所】北陸産業活性化センター「北陸地域における産業観光の現状と課題に関する調査研究報告書(H28.2発刊)」

【備考】産業観光の取組先(過去を含む)124先を対象に、複数回答可(5つまで)として調査したもの。

8. 関係機関等

区分	関係先	区分	関係先
行政機関	各県、各市町村 北陸信越運輸局、中部運輸局 中部経済産業局、近畿経済産業局	主な 取組企業	
調査機関	一般財団法人 北陸経済研究所 一般財団法人 北陸産業活性化センター	その他	日本観光振興協会 日本修学旅行協会 JTB ほか
関係団体	各県商工会議所(商工会議所連合会) 各県商工会(商工会連合会) (公社)石川県観光連盟 (公社)とやま観光推進機構 (公社)福井県観光連盟		

9. 今後のスケジュール

月日	内容
H29.12.12	北陸地域連携プラットフォーム開催(第14回) ① 基調講演(事例紹介) ② 意見交換(提言・提案)
H30.4中旬	北陸地域連携プラットフォーム開催(第15回) ① 基調講演(事例紹介) ② 取組の結果報告 ③ 意見交換
H30.6初旬	「産業観光」フォーラム(北陸地域連携プラットフォーム主催) ① 基調講演(事例紹介) ② プラットフォームからの提案 ③ パネルディスカッション